

第1回白馬村地域公共交通検討委員会 議事録（要旨）

招集年月日	令和7年9月25日（木）
招集の場所	白馬村役場 201・202 会議室
開催時間	10時00分～11時16分

■委 員

白馬村 副村長 （委員長）	吉田 久夫	○
公募委員	田代 雅子	○
公募委員	渡邊 宏	○
一般社団法人白馬村観光局代表理事	伊藤 英喜 代理：福島 洋次郎	欠
八方尾根観光協会 会長	丸山 徹也	○
白馬五竜観光協会 会長	伊藤 公一	欠
株式会社 白馬フォーティーセブン 代表取締役社長	太田 達彦	○
岩岳観光協会 総務部長	宮田 貴夫	○
一般社団法人 HAKUBA VALLEY TOURISM	子安 良美	○
Hakuba International Business Association	ケビン・モラード	○
有限会社白馬交通代表取締役	鯛縄 尚行	○
アルピコ交通株式会社白馬営業所長 （副委員長）	工藤 秀行	○
アルプス第一交通株式会社大町営業所 所長	菅谷 友和 代理：松下ひとみ	欠
アルピコタクシー株式会社大町支社長	薄井 浩章	○
白馬観光タクシー株式会社代表取締役	風間 雅裕	○
東日本旅客鉄道株式会社白馬駅長	古畑 幸信	欠

出席12名

■オブザーバー

アルピコタクシー株式会社代表取締役	三澤 洋一	○
-------------------	-------	---

■事務局

白馬村 観光課長	山岸 大祐	○
白馬村 観光商工係長	矢口 浩樹	○
白馬村 観光課 主事	内藤 優太	○

開 会<観光課 山岸課長>

1. 委員自己紹介

2. 会議の公開について

3. 委員長及び副委員長の選任

選任については、事務局が（案）を提示、異議なしのため以下のとおり決定

委員長 吉田久夫 副委員長 工藤秀行

4. 会議事項

（1）報告事項「交通に関する R6 年度冬期の反省、R7 年度冬期の交通体制について
〈観光課 内藤〉が、資料 1 より R6 年度冬期の反省 R7 年度冬期の交通体制について報告

【質 疑】

〈ケビン委員〉

白馬ナイトデマンドタクシーの経済効果を詳しく教えてほしいです。

→ 事務局 内藤

1 日 1 台の運行委託費は、47,300 円です。1 乗車 1 人 500 円なので、1 台 95 人以上は乗らないと黒字にはならないです。タクシー会社からも運賃についてはもう少し検討をした方がいいとの意見もいただいております、運賃については別の協議会で協議し設定することになっているため、検討したいと考えております。

〈渡邊委員〉

Uber のタクシー配車アプリ予約での乗車と通常の電話予約での乗車とで金額は違うのか。タクシー事業者として何か Uber を導入して起きた問題や課題等、今後 Uber 車両を増やすという考えはあるのかお聞きしたい。

→ 事務局 矢口

料金は通常の電話予約での金額と同じになります。使用料に関しては、Uber さんにタクシー会社が支払う仕組みになっています。

→ 薄井委員

タクシー会社にとっての問題や課題はないです。Uber のシステムが導入されたことで配車効率も良くなっております。Uber にかなり支払い金額を取られておりますが、導入したことにより、タクシー自体、売上も上がっておりますので、昨年度はトータルから見て良かったと思います。昨年の台数 30 台に対して +10 台増やす予定です。

→ 風間委員

薄井委員の言っていたとおり効率の良さについては、間違いないと思います。

冬はオーストラリアやニュージーランドの観光客が多く、Uber を自国で利用している方たちは日本に来てすぐに利用できる。しかし日本人やお年寄りはいまだに電話予約です。Uber アプリ利用と電話利用とのバランスが課題だと思います。

〈風間委員〉

ナイトデマンドタクシーの運賃についてですが、500 円という料金は見直す必要があると思います。タクシーは2 k m初乗りで700 円、200 k mごとに100 円ずつ料金が上がることを考えると、500 円で行けるのは安過ぎる。1,000 円でもいいと思う。

・定期券に関しては、外国人の方が使いまわしをしている。定期券購入者は、地元住民のみにするなど、見直しが必要では。

→ 事務局 矢口

運賃についてですが、500 円が安いとお話ですが私たちもそのように捉えています。しかしオーバーツーリズムにより、住民が住みづらくなつてはいけないと踏まえると現在の500 円では高いという意見も出てきている。公共交通では住民と観光客との切り分けができず、今非常にネックになってきています。何かいいシステム運用ができないか検討を進めています。

・定期券についてですが、利便性の良い物をお客様サービスさせていただいています。マイナンバー連携も考えましたが管理システム料金が非常に高くなってしまうので持続可能ではないのが現状です。定期券に関しても利便性を高めるためにスタートしましたが、不正利用が見受けられるようになりどのように改善したらいいか事務局でも引き続き皆様のご意見を伺いながら、解決方法を考えていけたらと思います。

〈渡邊委員〉

定期券がどれくらい売れたのかお答えください

→ 事務局 山岸

令和6 年度中の一日券とシーズン券の合計になりますが、84 件になります。

〈丸山委員〉

冬のインバウンドの増加に対して村としての適正人口、観光客を含めた需要と入込数をどこまで想定していますか。

→ 代表理事代理 福島

今冬に調査を実施し、その結果をもとに村としてのキャパシティを算出し、適正な受け入れ規模に応じた交通政策を検討する予定です。

→ 事務局 山岸

観光地経営会議でも委員の皆様から課題として挙がっていますが、観光課としては、キャパシティコントロールの重要性は十分に理解しています。一方で、仮に適正値が示されたとしても、それが各業態にとってチャンスロスにつながる可能性があります。また、算出された数値が本当に正しいのか判断が難しいという点も懸念されています。そのため、今後は関係者間で認識を共有し、議論を深める必要があります。

特に「キャパシティ」と「チャンスロス」の関係をどのように整理し、示していくかが重要な検討課題になると考えています。

〈丸山委員〉

駅前や八方バスターミナルの駐車場利用方法が大変煩雑になっている。毎年同じ議論になりますが冬だけの需要に合わせていくことを繰り返していますが村の考えをお聞きしたいと思います。交通整理をすればベストじゃなくてもベターな方向性で、考えていただきたいです。

→ 事務局 山岸

商工会の行政相談会で地域の方から渋滞と混雑について指摘があり、行政としても認識しています。シーズンが終わった段階から宿泊事業者の皆さんの意見を聞きながらどのような対策が必要か検討し、観光協会や商工会との要望書を白馬駅長から長野支社へ提出し JR と調整中です。進捗経過について 9 月 30 日に支社から村長へ報告が入ります。9 月 30 日の JR からの提案を待ち、行政としても次の提案と繋げていきたいと思っています。

〈子安委員〉

ナイトループバスの件ですが、ある程度方向性が決まってきましたので共有します。昨年 12 月 21 日から 3 月 9 日まで村内をぐるぐる回していましたが、6,500 人程の乗車人数でした。しかし採算が厳しく、三市村の索道事業者で運行していましたが、需要と供給を考えると足りていないのが現実です。バスに乗りいただいた 6,500 人の足を考え、今年もオーバーツーリズム補助金を利用して事業を継続で実施する予定です。ルートに関しては、若干変更をし、神城エリアと和田野エリアを含む形で運行する予定です。

白馬駅前混雑の件で、HV シャトルが全便白馬駅に入っていて混雑を引き起こしたとのことをお話を伺っていますので、そちらを減便し混雑の緩和を計る計画です。

〈三澤オブザーバー〉

長野県タクシー協会として、軽井沢、白馬、野沢温泉村に力を入れて体制強化をしています。白馬村に関しては 2023 年冬季から対応しており、2023 年は 52 台、2024 年は 67 台の対応をしています。ただ労働基準法等の兼ね合いで、実質 7 割稼働になるので 67 台だと 46 台の稼働になります。100%が Uber の配車アプリでの予約ではなく、電話予約の対応も非常に多い現状の中でアプリ予約平均 27.3 台となります。電話予約を主とする会社もあり、今年度はもう少し Uber の配車アプリ予約の車両台数を強化する方向で、Uber と打ち合わせしています。Uber からは 20 台×100 日で 2,000 台増やしてほしいと要望があります。令和 7 年度の取組として相互扶助の方針のもと体制は整えてく予定です。

(2) 協議事項 「R7年度白馬デマンドタクシー乗降場所の検討」

→ 事務局 内藤

資料2よりR7年度白馬デマンドタクシー乗降場所の事務局（案）について説明。

資料3より白馬ナイトデマンドタクシー運行計画（案）について昨年度からの変更点を説明。変更内容について、白馬村地域公共交通会議にて「令和7年度白馬デマンドタクシー運行計画（案）」として協議予定（11月中旬に開催予定）

〈宮田委員〉

先日、旅館組合より新田地区内に新たに数店舗、飲食店の開業報告があった。それに伴い、庄屋まるはちの乗降場所を新田公民館に変更をお願いしたい。

→ 事務局 内藤

乗降場所の変更について承知しました。

→ その他質疑・意見等なく、採決したところは、賛成全員により承認された。

5. その他

6. 開 会<工藤副委員長>